

2 級

答案用紙

第1予想

平成 27 年度
第 142 回 日商簿記試験対策
ラストスパート模試

(午後 1 時30分開始 制限時間 2 時間)

(実際の試験では以下の文言が記載されています。)

受験者への注意事項

1. 答案用紙は、持ち帰りできませんので必ず提出してください。持ち帰った場合は失格となり、以後の受験をお断りする場合があります。
2. 答えは、定められたところに、誤字・脱字のないよう、ていねいに書いてください。
3. 答案の記入にあたっては、黒鉛筆または黒シャープペンを使用してください。



Net-School

<http://www.net-school.co.jp/>

© Net-School

採点欄	
第1問	

平成27年度 ラストスパート模試・第1予想
第142回対策 答案用紙

受験番号 _____

氏名 _____

生年月日 . . .

2 級 ①

商業簿記

× (ココロトジル) ×

第1問 (20点)

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				
4				
5				

受験番号

氏名

生年月日

× (コゴロツジル) ×

平成27年度 ラストスパート模試・第1予想
第142回対策 答案用紙

2 級 ②

商業簿記

採点欄

第2問

第2問 (20点)

問1

株主資本等変動計算書

自平成26年4月1日 至平成27年3月31日

(単位：円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当期首残高	3,600,000	810,000	0	810,000
当期変動額				
剰余金の配当等				
新株の発行	()	()		()
吸収合併	()	()	()	()
当期純利益				
当期変動額合計	()	()	()	()
当期末残高	()	()	()	()

下段へ続く

上段より続く

	株主資本					株主資本合計
	利益準備金	利益剰余金			利益剰余金合計	
		減債積立金	別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	84,000	0	30,000	800,000	914,000	5,324,000
当期変動額						
剰余金の配当等	()	()		()	()	()
新株の発行						()
吸収合併						()
当期純利益				()	()	()
当期変動額合計	()	()	0	()	()	()
当期末残高	()	()	30,000	()	()	()

問2

のれんの償却額 = 円

受験番号

氏名

生年月日

平成27年度 ラストスパート模試・第1予想

第142回対策 答案用紙

2 級 ③

× (コゴフトジル) ×

商業簿記

採点欄

第3問

第3問 (20点)

損益計算書

自平成26年4月1日 至平成27年3月31日

(単位:円)

I	売上高	()	
II	売上原価	()	
1	期首商品棚卸高	()	
2	当期商品仕入高	()	
	合計	()	
3	期末商品棚卸高	()	
	差引	()	
4	棚卸減耗損	()	
5	商品評価損	()	()
	売上総利益	()	()
III	販売費及び一般管理費		
1	給料	()	
2	旅費交通費	66,840	
3	水道光熱費	()	
4	通信費	()	
5	保険料	()	
6	減価償却費	()	
7	貸倒引当金繰入	()	
8	退職給付費用	()	()
IV	営業外利益	()	()
1	受取利息	()	()
V	営業外費用		
1	支払利息	()	()
	税引前当期純利益	()	()
	法人税、住民税及び事業税	()	()
	当期純利益	()	()

貸借対照表

平成27年3月31日

(単位:円)

資産の部		負債の部	
I	流動資産	I	流動負債
	現金預金 ()		支払手形 212,000
	受取手形 ()		買掛金 ()
	売掛金 ()		短期借入金 1,200,000
	商品 ()		未払法人税等 ()
	前払費用 ()		未払費用 ()
	未収収益 ()		流動負債合計 ()
	貸倒引当金 △ ()	II	固定負債
	流動資産合計 ()		退職給付引当金 ()
II	固定資産		固定負債合計 ()
	建物 720,000		負債の部合計 ()
	減価償却累計額 ()		純資産の部
	備品 240,000		資本金 800,000
	減価償却累計額 ()		利益準備金 88,000
	土地 200,000		繰越利益剰余金 ()
	固定資産合計 ()		純資産の部合計 ()
	資産の部合計 ()		負債及び純資産合計 ()

受験番号

氏名

生年月日

× (コヨウトジル) ×

平成27年度 ラストスパート模試・第1予想

第142回対策 答案用紙

2 級 ④

工業簿記

採点欄

第4問

第5問

第4問 (20点)

問1

6月の月末仕掛品原価 = 円

6月の月末製品原価 = 円

問2

製造原価報告書

(単位:円)

I 直接材料費	()
II 直接労務費	()
III 製造間接費	()
当月総製造費用	()
月初仕掛品棚卸高	()
合計	()
月末仕掛品棚卸高	()
当月製品製造原価	()

損益計算書

(単位:円)

I 売上高	8,800,000	
II 売上原価		
月初製品棚卸高	()	
当月製品製造原価	()	
合計	()	
月末製品棚卸高	()	()
売上総利益	()	()

(以下略)

第5問 (20点)

通常、不可避免的に生ずる仕損は、(①)とよばれる。それが生じたために増加した原価である(②)は、製品原価性をもつために良品が負担すべきであるが、いつ発生したかによって負担先が異なる。②は、第1工程では(③)のみに負担させるが、第2工程では③と(④)の両者に負担させる。

第1工程の月末仕掛品原価は(⑤)円、完成品総合原価は(⑥)円である。

第2工程の当月製造費用の前工程費は(⑦)円、第2工程の月末仕掛品原価は(⑧)円、完成品総合原価の内訳は前工程費が(⑨)円、加工費が(⑩)円である。

2 級

答案用紙

第2予想

平成 27 年度
第 142 回 日商簿記試験対策
ラストスパート模試

(午後 1 時30分開始 制限時間 2 時間)

(実際の試験では以下の文言が記載されています。)

受験者への注意事項

1. 答案用紙は、持ち帰りできませんので必ず提出してください。持ち帰った場合は失格となり、以後の受験をお断りする場合があります。
2. 答えは、定められたところに、誤字・脱字のないよう、ていねいに書いてください。
3. 答案の記入にあたっては、黒鉛筆または黒シャープペンを使用してください。



<http://www.net-school.co.jp/>

© Net-School

採点欄	
第1問	

平成27年度 ラストスパート模試・第2予想
第142回対策 答案用紙

受験番号 _____

氏名 _____

生年月日 . . .

2 級 ①

商業簿記

× (ココロトジル) ×

第1問 (20点)

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				
4				
5				

受験番号 _____

氏名 _____
生年月日 _____

× (コゴフトジル) ×

平成27年度 ラストスパート模試・第2予想
第142回対策 答案用紙

2 級 ②

商業簿記

採点欄	
第2問	

第2問 (20点)

問1

銀行勘定調整表

平成27年3月31日

(単位:円)

企業の当座預金勘定の残高	()	銀行の残高証明書の残高	()
加算: []	()	加算: []	()
減算: []	()	減算: []	()
	()		()

問2

	企業側の修正仕訳			
	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				
④				

問3

現金過不足の金額 ¥ () (過剰・不足)

(注) () 内の「過剰」または「不足」を○で囲むこと。

受験番号 _____

氏名 _____
生年月日 _____

× (コゴロトジル) ×

平成27年度 ラストスパート模試・第2予想

第142回対策 答案用紙

2 級 ④

工業簿記

採点欄	
第4問	
第5問	

第4問 (20点)

直接材料		(単位：円)	
前月繰越	168,000	消費高	()
仕入高	()	原価差異	()
		次月繰越	132,000
	()		()

賃金・給料(直接工)		(単位：円)	
支払高	256,000	前月繰越	()
次月繰越	()	消費高	()
		原価差異	()
	()		()

製造間接費		(単位：円)	
実際発生額	600,000	予定配賦額	()
		原価差異	()
	()		()

仕掛品		(単位：円)	
前月繰越	160,000	当月完成高	()
直接材料費	()	次月繰越	480,000
直接労務費	()		
製造間接費	()		
	()		()

第5問 (20点)

問1

	X 製品	Y 製品
加工費配賦額	円	円

問2

	X 製品	Y 製品
原料費	円	円
加工費	円	円

問3

	X 製品	Y 製品
完成品総合原価	円	円
完成品単位原価	円	円

2 級

答案用紙

第3予想

平成 27 年度
第 142 回 日商簿記試験対策
ラストスパート模試

(午後 1 時30分開始 制限時間 2 時間)

(実際の試験では以下の文言が記載されています。)

受験者への注意事項

1. 答案用紙は、持ち帰りできませんので必ず提出してください。持ち帰った場合は失格となり、以後の受験をお断りする場合があります。
2. 答えは、定められたところに、誤字・脱字のないよう、ていねいに書いてください。
3. 答案の記入にあたっては、黒鉛筆または黒シャープペンを使用してください。



<http://www.net-school.co.jp/>

© Net-School

採点欄	
第1問	

平成27年度 ラストスパート模試・第3予想
第142回対策 答案用紙

受験番号 _____

氏名 _____

生年月日 . . .

2 級 ①

商業簿記

× (ココロトジル) ×

第1問 (20点)

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				
4				
5				

受験番号

氏名

生年月日

平成27年度 ラストスパート模試・第3予想

第142回対策 答案用紙

2 級 ②

採点欄

第2問

× (コゴロトジル) ×

商業簿記

第2問 (20点)

問1

備品Ⅰの減価償却費	¥
備品Ⅱの減価償却費	¥
備品Ⅲの減価償却費	¥
備品Ⅳの減価償却費	¥

問2

備品Ⅱの売却損	¥
---------	---

問3

備 品

日	付	摘 要	借 方	日	付	摘 要	貸 方	
26	4	1	前期繰越	636,000	27	3	31	() ()
	10	1	() ()			〃	() ()	
			() ()				() ()	

備品減価償却累計額

日	付	摘 要	借 方	日	付	摘 要	貸 方	
27	3	31	()	24,000	26	4	1	前期繰越 ()
		〃	() ()		27	3	31	() ()
			() ()				() ()	

問4

備品Ⅰの除却損	¥
---------	---

問5

備品Ⅰの除却損	¥
---------	---

受験番号

氏名

生年月日

× (コゴロトジル) ×

平成27年度 ラストスパート模試・第3予想

第142回対策 答案用紙

2 級 ③

商業簿記

採点欄

第3問

第3問 (20点)

損益計算書

自平成26年4月1日 至平成27年3月31日

(単位:円)

I 売上高	()	
II 売上原価		
1. 期首商品棚卸高	()	
2. 当期商品仕入高	()	
合計	()	
3. 期末商品棚卸高	()	
差引	()	
4. 棚卸減耗損	()	
5. ()	()	()
()	()	()
III 販売費及び一般管理費		
1. 給料	()	
2. 保険料	()	
3. 減価償却費	()	
4. 貸倒引当金繰入	()	()
()	()	()
IV 営業外収益		
1. 有価証券利息	()	
2. ()	()	()
V 営業外費用		
1. 支払利息	()	()
()	()	()
VI 特別利益		
1. ()	()	()
VII 特別損失		
1. ()	()	()
税引前当期純利益	()	()
法人税、住民税及び事業税	()	()
()	()	()

貸借対照表に記載される金額

① 現金預金	¥
② 商品	¥
③ 備品 (減価償却累計額控除後)	¥

受験番号 _____

氏名 _____
 生年月日 _____

× (コゴロトジル) ×

平成27年度 ラストスパート模試・第3予想

第142回対策 答案用紙

2 級 ④

工業簿記

採点欄	
第4問	
第5問	

第4問 (20点)

製造原価報告書

(単位：円)

I 材	料	費		
1 期	首 材 料	棚 卸 高	()	
2 当	期 材 料	仕 入 高	()	
	合 計		()	
3 期	末 材 料	棚 卸 高	()	()
II 労	務	費		
1 賃		金	()	
2 給		料	()	()
III 経		費		()
	合 計		()	
	製造間接費配賦差異		()	
	当期総製造費用		()	
	期首仕掛品棚卸高		()	
	合 計		()	
	期末仕掛品棚卸高		()	
	当期製品製造原価		()	

仕 掛 品

(単位：円)

前期繰越	()	当期完成高	()
直接材料費	()	次期繰越	()
直接労務費	()		
製造間接費	()		
	()		()

第5問 (20点)

標準製造原価差異分析

(単位：円)

直接材料費総差異		()
価格差異	()	
数量差異	()	
直接労務費総差異		()
賃率差異	()	
作業時間差異	()	
製造間接費総差異		()
予算差異	()	
能率差異	()	
操業度差異	()	

(注) 不利な差異には△を付けること。

2 級

答案用紙

ウラ予想

平成 27 年度
第 142 回 日商簿記試験対策
ラストスパート模試

(午後 1 時30分開始 制限時間 2 時間)

(実際の試験では以下の文言が記載されています。)

受験者への注意事項

1. 答案用紙は、持ち帰りできませんので必ず提出してください。持ち帰った場合は失格となり、以後の受験をお断りする場合があります。
2. 答えは、定められたところに、誤字・脱字のないよう、ていねいに書いてください。
3. 答案の記入にあたっては、黒鉛筆または黒シャープペンを使用してください。



<http://www.net-school.co.jp/>

© Net-School

採点欄	
第1問	

平成27年度 ラストスパート模試・ウラ予想
第142回対策 答案用紙

受験番号 _____

氏名 _____

生年月日 . . .

2 級 ①

商業簿記

× (ココロトジル) ×

第1問 (20点)

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				
4				
5				

受験番号 _____

氏名 _____
 生年月日 _____

平成27年度 ラストスパート模試・ウラ予想
 第142回対策 答案用紙

採点欄	
第2問	

2 級 ②

× (コゴロツジル) ×

商業簿記

第2問 (20点)

(1)

仕訳日計表

平成28年2月1日

借方	元丁	勘定科目	元丁	貸方
	(現金	(
15,600		受取手形		
		売掛金		
	省	売買目的有価証券	省	18,000
		仮払金		
		()		
		貸付金		
		支払手形		
		買掛金		40,800
		前受金		
		売上		
	略	受取手数料	略	
		仕入		
		消耗品費		
3,000		有価証券売却損		
))	

(2)

総勘定元帳

売掛金

平成28年	摘要	仕丁	借方	貸方	借/貸	残高
2	1 前月繰越	(省)			借	
	" 仕訳日計表	略			"	
	" "				"	

買掛金

平成28年	摘要	仕丁	借方	貸方	借/貸	残高
2	1 前月繰越	(省)		174,000	貸	174,000
	" 仕訳日計表	略			"	
	" "				"	

(3)

得意先元帳

大阪商店

平成28年	摘要	仕丁	借方	貸方	借/貸	残高
2	1 前月繰越	(省)	100,800		借	100,800
	" 入金伝票			24,000	"	
	" 振替伝票				"	
	" "				"	
	" "	略		1,800	"	

鳥取商店

平成28年	摘要	仕丁	借方	貸方	借/貸	残高
2	1 前月繰越	(省)	93,000		借	93,000
	" 入金伝票				"	
	" 振替伝票			18,000	"	
	" "				"	45,600
	" "	略			"	72,600

受験番号

氏名

生年月日

平成27年度 ラストスパート模試・ウラ予想

第142回対策 答案用紙

2 級 ③

× (コゴロトジル) ×

商業簿記

採点欄

第3問

第3問 (20点)

損益計算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位：円)

費用	金額	収益	金額
期首商品棚卸高	()	売上高	()
当期商品仕入高	()	期末商品棚卸高	()
営業費	()		
貸倒引当金繰入	()		
減価償却費	()		
法人税、住民税及び事業税	()		
当期純利益	()		
	()		()

貸借対照表

平成27年3月31日

(単位：円)

資産	金額	負債・純資産	金額
現金預金	()	買掛金	()
売掛金	()	未払法人税等	()
貸倒引当金	() ()	未払費用	()
商品	()	資本金	()
建物	()	資本準備金	()
減価償却累計額	() ()	繰越利益剰余金	()
備品	()		
減価償却累計額	() ()		
	()		()

京都支店における税引前の利益 = 円

受験番号

氏名

生年月日

× (コゴロトジル) ×

平成27年度 ラストスパート模試・ウラ予想

第142回対策 答案用紙

2 級 ④

工業簿記

採点欄

第4問

第5問

第4問 (20点)

問1

予算部門別配賦表

(単位:円)

費目	合計	製造部門		補助部門		
		第1製造部	第2製造部	材料倉庫部	修繕部	工場事務部
部門費	50,880,000	23,280,000	19,200,000	3,200,000	2,400,000	2,800,000
材料倉庫部費						
修繕部費						
工場事務部費						
製造部門費						

問2

第1製造部の予定配賦率 円/時間

第2製造部の予定配賦率 円/時間

問3

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕掛品	()	製造間接費	1,895,000
予算差異	()	操業度差異	()

第5問 (20点)

問1 当期の販売数量 = 個

問2 当期の単位当たり貢献利益 = 円/個

問3 当期の固定製造原価 = 円

問4 当期の損益分岐点における販売数量 = 個

問5 営業利益 648,000円を達成するための売上高 = 円

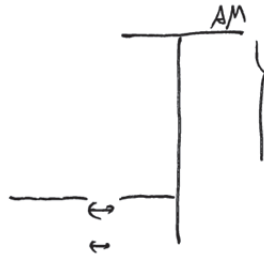
解き方

第5問 工程別にボックス図を作成し、金額の流れをつかみます。

第5問

2. 原価データ

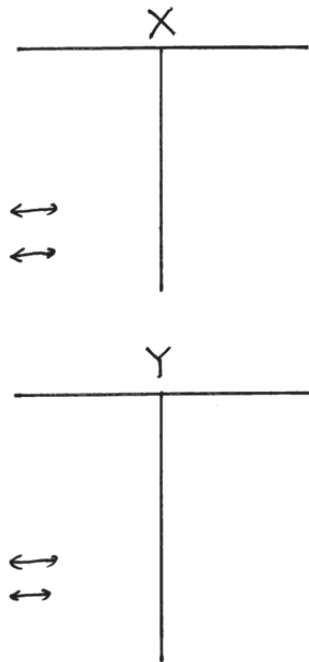
	第 1 工 程	第 2 工 程
月初仕掛品原価		
原 料 費	70,280 円	- 円
前 工 程 費	-	111,600
加 工 費	15,120	113,640
小計	85,400 円	225,240 円
当月製造費用		
原 料 費	534,520 円	- 円
前 工 程 費	-	?
加 工 費	343,920	1,209,360
小計	878,440 円	? 円
合計	963,840 円	? 円



解き方

第5問 製品ごとにボックス図を作成します。

第5問



合格アシストノート

第3予想 第2問・第4問・第5問

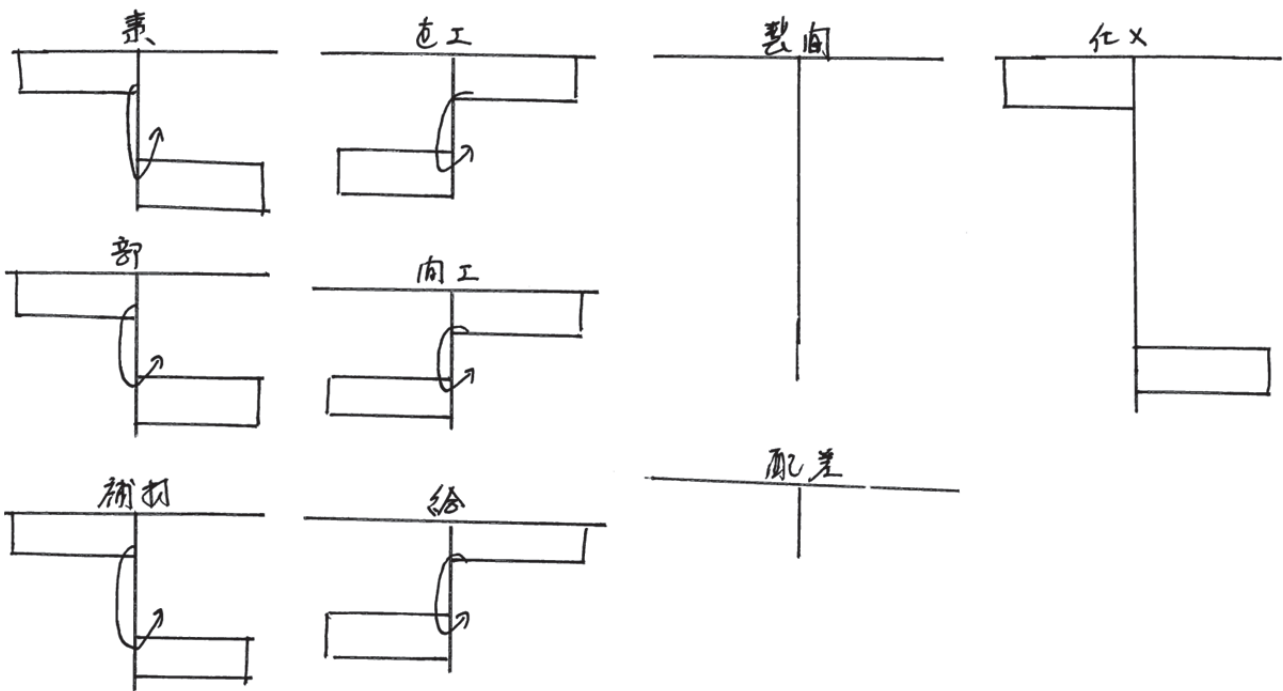
解き方

- 第2問 備品の種類ごとに分けて考えます。
- 第4問 Tフォームを作成し、金額の流れをつかみます。
- 第5問 差異分析図を作成し、差異の金額を計算します。

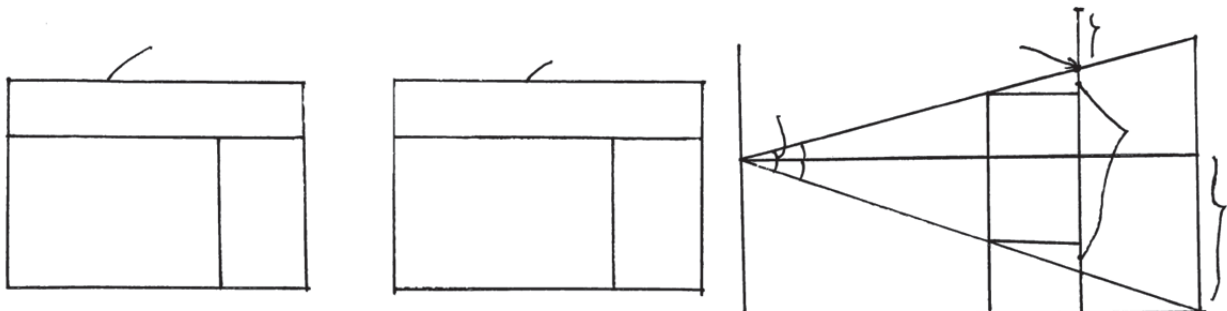
第2問

I	II	III	IV

第4問



第5問



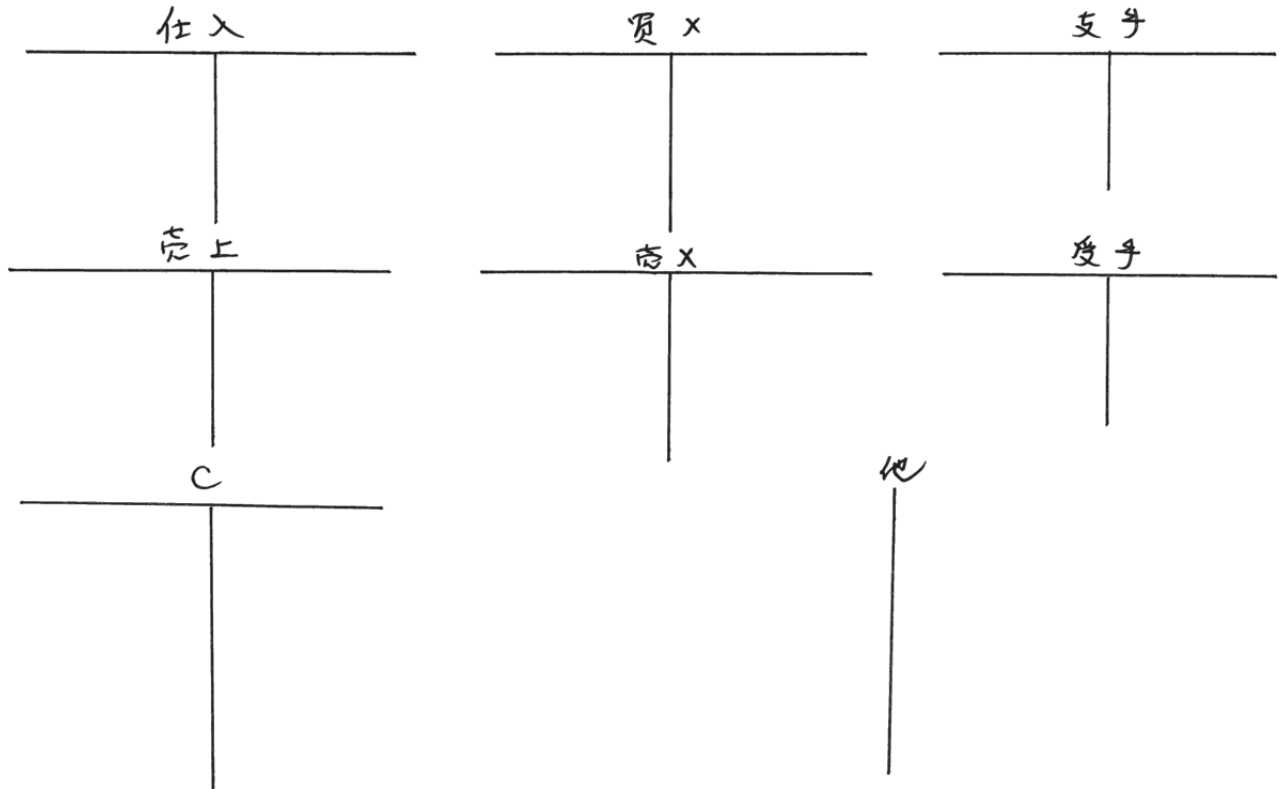
解き方

第2問

1. 取引が多い勘定については、Tフォームを作成し、個別に記入します。
2. その他の勘定については、「他」と書いて縦線を引き、まとめて記入します。

※ 買× → 買掛金 支手 → 支払手形 売× → 売掛金 受手 → 受取手形 C → 現金

第2問



計 算 用 紙

半分に切ってお使いください

計 算 用 紙

半分に切ってお使いください

計 算 用 紙

半分に切ってお使いください

計 算 用 紙

半分に切ってお使いください